

## 個人企業経済調査

継続標本による参考値の作成・提供について（案）

令和元年10月7日

統計局統計調査部経済統計課

# 1 概要

令和元年調査から、毎年3分の1の標本を入れ替えるローテーション・サンプリングを導入（3か年の継続調査）



継続標本（前年調査、当年調査ともに集計対象となった調査客体）データが存在する。



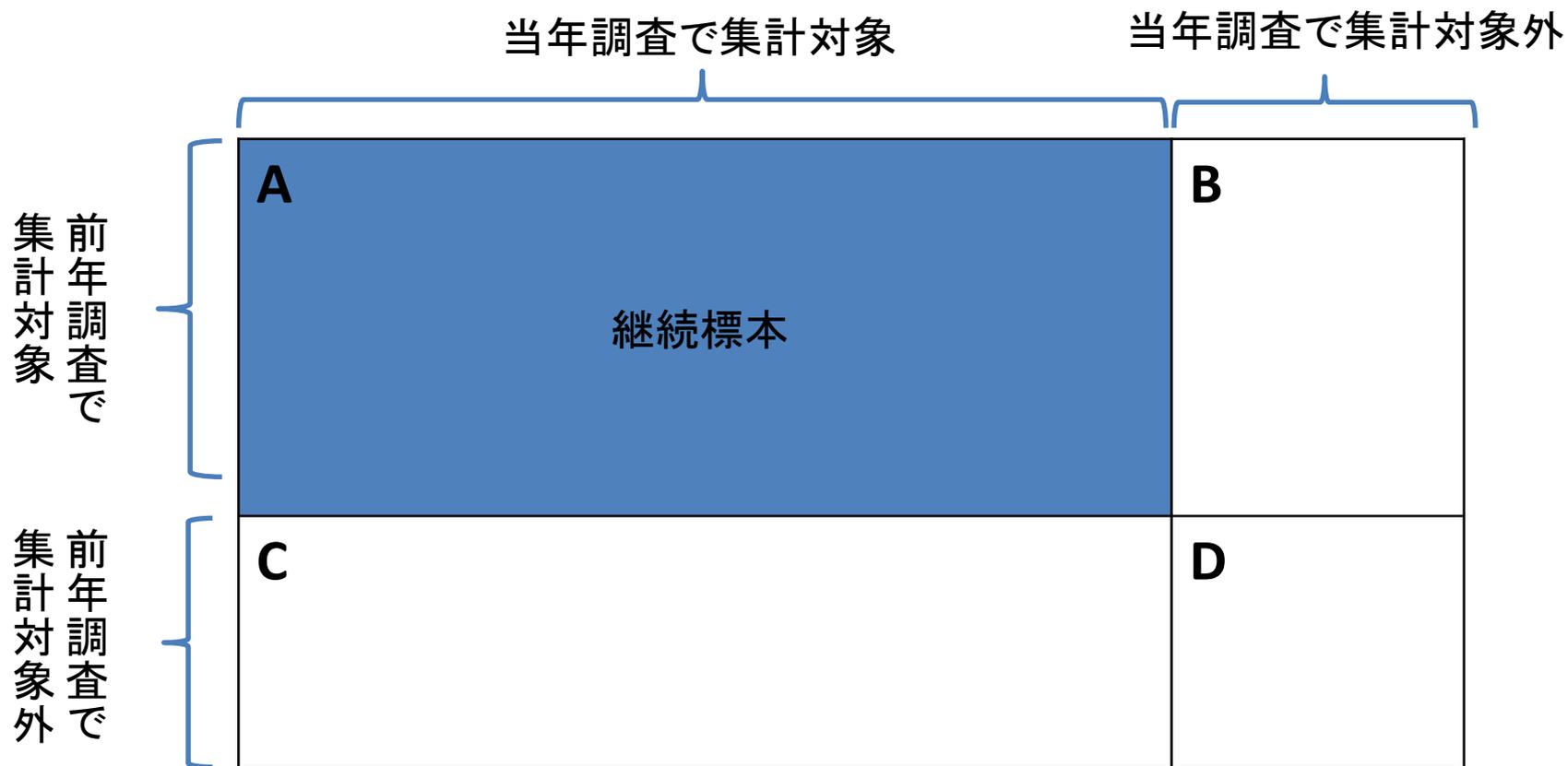
継続標本のみを用いた集計を行うことで、標本交替による結果への影響を考慮せず、安定的な時系列推移を観察したいというニーズに対応できる。



継続標本のみを用いた集計を、参考値として作成・提供することとした。  
（第72回サービス統計・企業統計部会）

## 2 集計対象

継続標本による参考値の集計対象は、下図のAとする。



### 3 結果表（イメージ）

集計項目は、基本的な事項である1企業当たり売上高及び営業利益とし、前年比のみを表章する。

#### 産業別売上高及び営業利益（前年比）（全国）

【参考値】

企業当たり  
単位 %

調査年	調査産業計		建設業		製造業		卸売業, 小売業		宿泊業, 飲食サービス業		生活関連サービス業, 娯楽業		サービス業 (上記産業を除く)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
令和2年														
令和3年														
令和4年														
...														

## 4 推計方法及び作成・提供時期

### ■推計方法

継続標本のみを用いて乗率を再算出し、集計を行う。

### ■作成・提供時期

継続標本（前年調査、当年調査ともに集計対象となった調査客体）データが存在する令和2年調査から作成する。

提供は、2年分の動向を分析した上で、令和2年調査と令和3年調査の2年分を同時に公表する。（令和4年3月予定）